

「全自治会にいるスポレク推進委員が、町民のスポーツ活動をバックアップしています」

平成 15 年度上半期

体育館利用者 NO.1：栗橋町 B & G 海洋センター（埼玉県）

昔からスポーツが盛んだったという、埼玉県栗橋町。海洋センターの体育館ができてからは町民のスポーツ意識に拍車がかかり、連日のように体育館がにぎわっています。

「町では、学校以外にここだけにしか体育館がないということもあり、平日の午前中は婦人や高齢者の方々の団体による利用でほとんど埋まっています。午後からは、町内 2 つの中学校から剣道部や卓球部などが練習にやってきますし、夜にはバドミントンやバレーボールなど、社会人のクラブが活動をしています」

こうしたなか、特に今年上半期の利用者数を増大させた理由の 1 にあげられるのが、ミニテニスの活動が盛んになったことだそうです。

「例年、ミニテニスの教室を開いてきましたが、今年になって教室を卒業した人たちがグループをつくって自主的な活動を始めました。また、ここに来て高齢者の方々の間で卓球がブームになっており、多いときには 15、16 セットの卓球台が体育館狭しと並べられ、そのうえで順番を待ちながら楽しむといった光景が見られます。卓球に関しても、毎年、教室を開いているので、その影響が強いのだと思います」

各スポーツ種目の教室は、町の体育協会とタイアップして行っており、その連携がうまく噛み合っているとのこと。教室を卒業した人たちが、自主的にグループやクラブをつくって活動が続けるといった継続性が見られるのは、海洋センターのスタッフが町の生涯スポーツ係を兼任していることが大きいようです。

「私たちは、生涯スポーツ事業を行いながら海洋センターを管理運営しています。そのため町民の間では、生涯スポーツ、イコール海洋センターだという意識が定着しているようです」

さらに、もう 1 つ町民のスポーツ意識を高める原動力となっているのが、スポレク推進委員の存在です。同町では、各自治会の役員のなかにスポレク

推進委員という役を設け、スポーツ事業を推し進めるために、ひと役買ってもらっているそうです。町民体育祭も自治会対抗で行われるため、各自治会内のチームづくりにもスポレク推進委員は大きな役割を担います。

「行事のないときでも、スポーツをしたい人や、したくてもきっかけが見つからない人などを支援してくれるため、スポレク推進委員の存在は大きいと思います」

スポレク推進委員が全自治会にいて、スポーツのきっかけづくりに励んでいる栗橋町。今後、ますます海洋センターの体育館は利用者でにぎわうことでしょう。



スポレク推進委員の活躍もあって年々利用者が増えている、栗橋町B
& G海洋センターの体育館